

1 イスラーム教の誕生

- ・イスラーム教は、7世紀初頭に（ ）に誕生した宗教である。
- ・この地では、古くからベドウィンと呼ばれる遊牧民が部族社会を築いていた。
- ・6世紀後半、（ ）と（ ）との対立が激化したため、「オアシスの道」や「海の道」の商品がアラビア半島を経由するようになった。
→南西部のイエメンや西部の（ ）が、貿易の中心地として栄えていった。

☆ムハンマド時代（622～632年）

- ・メッカに生まれた（ ）は、（ ）のハーシム家に属する商人として成功をおさめていた。
→610年ころ、唯一神（ ）の言葉をさずけられた（ ）として活動を始め、イスラーム教を創始した。
→（ ）年、ムハンマドとその支持者は、迫害を避けて故郷のメッカから、北の（ ）へ移住した。
※これを（ ）といい（ ）の元年とされる。
→イスラーム教徒の共同体である（ ）が作られた。
→630年、故郷のメッカを逆に占領し、（ ）を聖地とした。



ムハンマドと天使ガブリエル

マリアに受胎告知した天使と同じである。今回もかなり強引。ムハンマドの顔は描かれていないところに注目。



メッカのカーバ聖殿

カーバ神殿とも。元々は多神教の神々をまつる神殿であった。現在はイスラーム教の聖地として、年間300万人が巡礼で訪れる。観光では行けないのかな？

2 主なイスラームの教え

< =イスラーム教徒が信じる6つのこと>

- ・唯一神である（ ）を信じる。
- ・神の言葉を預かった預言者たちを信じる。
- ・アッラーの言葉を記した聖典である『 』を信じる。
- ・天使、最後の審判、定命を信じる。



コーラン

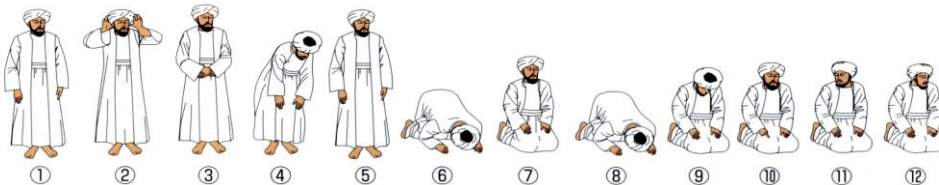
孫にコーランの読み方を教えるトルコ人。コーランとは「詠まれるもの」という意味であり、声に出して読むのが基本。

< =イスラーム教徒が行う義務>

- ・信仰告白、礼拝、喜捨、（ ）、巡礼をすること。

礼拝の仕方

※③～⑥を2～4回繰り返す



サウジアラビア国旗
信仰告白の言葉が、そのまま国旗となっている。

<その他>

- ・() を飲むこと、() を食べること、利子を取ることは禁止。
- ・アッラーやムハンマドの像を作ったり拝んだりすることは禁止。
- ・男性は平等に愛することができるなら、4人まで妻を持ってよい。
- ・イスラーム教徒を() と呼び、聖職者は存在しない。



ムハンマドの風刺画

2005年、デンマークのある新聞に、ムハンマドの似顔絵を用いたイスラーム教に批判的な風刺画が掲載された。これは大問題を引き起こした。



エジプトのモスク

ムスリムは、1日5回の礼拝を行う。その際、可能であればイスラーム教の寺院であるモスクで礼拝することが、奨励されている。



ムスリムの人たち

トルコのモスク前の広場にて。一番右がイマームと呼ばれる人。あくまでも信徒の指導者であり、聖職者ではない。

2 ムハンマドの後継者たち

- ・632年にムハンマドが死去した後、() と呼ばれる後継者が選ばれ、イスラーム共同体(ウンマ)を指導した。
※選挙で選ばれた最初の4人のカリフを、() という。

☆正統カリフ時代(632~661年)

◆ () (在位 632~634年)

- ・初代カリフ。ムハンマドの親友であった。

◆ () (在位 634~644年)

- ・第2代カリフ。ビザンツ帝国からシリアやエジプトを奪った。
- ・642年、ササン朝ペルシアを() で破った。



ラクダに乗るウマル
ウマルは、4人の正統カリフのなかでは最も武闘派である。3つの宗教の聖地エルサレムも、彼の時代に征服した。

◆ () (在位 644~656年)

- ・第3代カリフ。ウマイヤ家の出身で一族の者を優遇したため、反発を受けた。
- ・このころイスラーム教の聖典である『コーラン』が現在の形に編集された。

◆ () (在位 656年~661年)

- ・第4代カリフ。ムハンマドのいとこであり娘婿。ハワーリジュ派に暗殺された。

<イスラーム勢力の拡大>

- ・このような征服活動は、イスラームを広めるための() とされた。
→征服した各地の重要拠点には、() と呼ばれる軍営都市が置かれた。
※イラクのクーファやバスラ、エジプトのフスタートなど。
- ・キリスト教徒やユダヤ教徒は、() とされた。
→人頭税である() と土地税(地租)である() を支払えば、信仰の自由を認められた。